

# 九州地方の火山活動解説資料 (平成 18 年 4 月)

福岡管区気象台  
火山監視・情報センター

## 九州地方および山口県の活火山



- ：噴火した火山
- ：活動が活発あるいはやや活発な状態にあった火山
- ：解説を掲載した火山

この資料は、気象庁のデータの他、大分県、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、阿蘇火山博物館のデータを利用し作成しています。

本資料中の地図の作成にあたっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ(標高)」を使用しています(承認番号: 平 17 総使、第 503 号)。

九重山[静穏な状況(火山活動度レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]  
中岳第一火口内の湯だまりの表面温度は70 前後で、小規模な土砂噴出が発生するなど、火山活動はやや活発な状況で経過しました。  
火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳[静穏な状況(火山活動度レベル1)]  
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山  
[ 御鉢 :やや活発な状況(火山活動度レベル2)]  
火山性微動が時折観測されるなど、火山活動はやや活発な状態で経過しましたが、火口縁を越える噴気は観測されませんでした。  
[ 新燃岳 :やや活発な状況(火山活動度レベル2)]  
火山性地震の発生回数は、消長を繰り返しながら次第に少なくなっていますが、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

桜島[比較的静穏な噴火活動(火山活動度レベル2)]  
噴火は2回発生し、うち1回は爆発的噴火でした。桜島の噴火活動としては比較的静穏な状況でした。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]  
噴煙活動はやや活発な状態で経過しました。

口永良部島[やや活発な状況(火山活動度レベル2)]  
火山性地震はやや多い状態が続き、火山活動はやや活発でした。

諏訪之瀬島[活発な状況(火山活動度レベル3)]  
噴火が時々発生するなど、火山活動は活発な状態で経過しました。爆発的噴火の発生はありませんでした。

\* 火山情報発表はありませんでした。

今月及びこれまで公表した火山活動解説資料は気象庁 HP(<http://www.jma.go.jp/>)、福岡管区気象台 HP(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)に掲載しています。次回の火山活動解説資料の公表は、6月8日(木)の予定です。